HighFO
by koike medical

ハイホー ネブライザー／ 取扱説明書

安全にお使いいただくために／本文中のマークについて

この取扱説明書は、お使いになる人や他の人への危害、および財産への損害を未然に防止するために、必ず守っていただきたい事項をマークで表示しております。
この表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次のように区分しております。
内容をよく理解してからご使用ください。

⚠ 警告　死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　軽傷または中程度の傷害を負う可能性、または物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

仕様

一般的名称	非加熱式ネブライザ
販 売 名	ハイホーネブライザー
届出番号	10B2X00014H00001
内 容 量	420cc
使用ガス	医療用酸素
ホース接続口	口径φ22mm
外形寸法	222mm×φ88mm

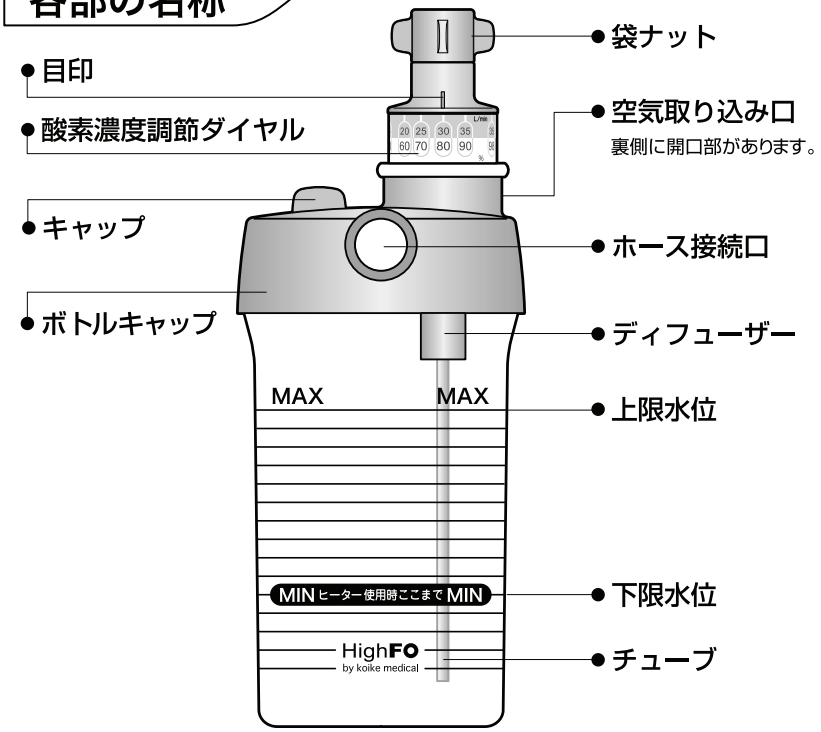
• 一般医療機器　• 再使用禁止　• 未滅菌

性能　酸素濃度：±3%

酸素流量 [L/min]	10	15	20	25	30	35	35
酸素濃度 [%]	40	50	60	70	80	90	98
トータルフロー [L/min]	42	41	41	40	40	40	36

⚠注意　40%以下の酸素濃度設定はありません。

各部の名称



発売元：KOIKE MEDICAL　株式会社 小池メディカル　〒132-0031東京都江戸川区松島1-24-8
製造販売元：株式会社 群馬コイケ　〒372−0855　群馬県伊勢崎市長沼町222 −1

使用上の注意　⚠ 警告

- 安全確保のため、本取扱説明書と添付文書を読み、操作方法や保守点検を十分理解されたうえで、ご使用ください。
（記載事項に従わないと重大な事故に結びつく事があります。）
- 使用時には処方流量が適正かどうかパルスオキシメータで定期的に酸素飽和度をチェックしてください。
- 高濃度酸素の環境下では、酸素中毒の可能性がありますので、血液中の酸素濃度が過剰にならないように、酸素投与量を注意深くモニターしてください。
- 人工鼻との併用はしないでください。（エアロゾルにより人工鼻が閉塞し、換気ができなくなるおそれがあります。）
- 酸素吸入器です。それ以外の用途には使用しないでください。
- 医師の処方がない酸素吸入は行わないでください。
- 使用時には、患者側に酸素が供給されていることを確認してください。
- 使用場所では火気厳禁、通風と換気に十分注意してください。
（ 酸素濃度が高くなると物質の燃焼性が著しく増加します。）
- 油脂類、また塵埃等の付着がないこと、またスプレー缶等可燃物との同時使用は厳禁です。（爆発的燃焼を起こすことがあります。）
- ガス漏れが発見されたら、直ちに付近の火を消し使用を中止してください。（爆発的燃焼を起こすことがあります。）
- 使用前に必ず保守点検し、異常が認められたら使用しないでください。
- 部品が外れたり酸素が漏れる可能性があるので、接続部に緩みやガタツキが見られたら使用しないでください。また、構成部品に不足があるものは使用できません。
- 酸素濃度調整ダイヤルの目盛を数字の中間にセットしての使用はしないでください。（酸素濃度は保証できません。）
- 酸素濃度ダイヤルの上段に酸素流量を、下段に酸素濃度を記載していますので、それに合わせて設定してください。（酸素流量の設定を間違うと、正しい酸素濃度が供給されません。）
- 滅菌水及び生理食塩水以外の医薬品の投与には、使用しないでください。

使用上の注意　⚠ 警告

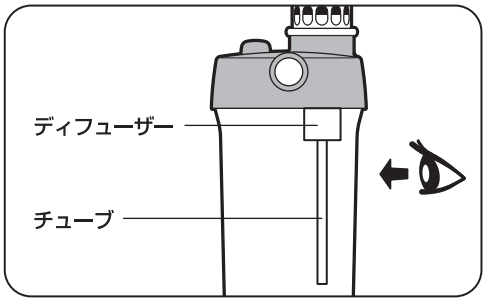
- 本製品はディスポーザブルであるため、再使用しないでください。（本製品はプラスチック部品やゴム部品を使用しているため、滅菌・消毒により変形、損傷の恐れがあるばかりか正しい性能を発揮できない可能性があります。）
- 本製品は24時間を限度に使用し、再使用しないでください。（細菌感染の恐れがあります。）
- 本製品に使用するマスクは、孔の大きいマスクを使用してください。（孔の小さいマスクを使ったりマスクの孔をふさいだりすると、設定通りの酸素濃度の供給ができません。）
- ヒーター使用中はボトル内の水が下限水位以下にならないよう、1時間毎に定期的に水量を確認してください。（空焚きにより、ボトルが変形・損傷する恐れがあります。）
- 生理食塩水を使用する際は、ヒーターを使用しないでください。（ヒーターが腐食し、故障の危険性があります。）

使用上の注意　⚠ 注意

- 小児喘息患者では滅菌水のエアロゾルが刺激となり、発作が誘発される場合があるので、生理食塩水を用いてください。
- 上限水位以上に滅菌水や生理食塩水を入ってないことをご確認ください。ディフューザーまで水位が達していると、設定通りの酸素濃度が供給できません。
- ホース接続口の口径はφ22mmであるため、それに合わないものを接続すると抵抗となり、設定通りの酸素濃度が供給できません。
- 袋ナットを締めつけすぎると、割れや破損する可能性があります。
- 空気取り込み口の近くに遮蔽物があると空気取り込みができないため、設定通りの酸素濃度の供給が調整ができない可能性があります。
- 蛇管が閉塞されると空気取り込み口からガスが流出し、設定通りの酸素濃度が供給できません。
- 酸素濃度調整ダイヤルの表示が消えたり、はがれているものは使用しないでください。
- ヒーターを使用する際は、ハイホーヒーターをご使用ください。
- 本製品に転倒及び落下等の衝撃を加えないでください。
- 使用済みの本製品又は本製品に使われている部品などを廃棄処分する場合は、適合する法規に従って廃棄してください。

ハイホーネブライザーの使い方

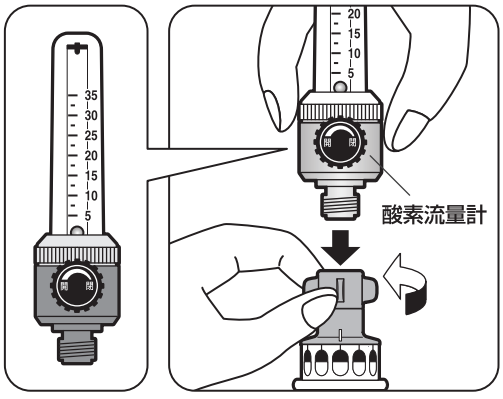
❶ 本製品を使用する前に、チューブやディフューザーが接続されていることを確認してください。
ディフューザーが外れている場合は設定通りの酸素が供給できません。



❷ 専用の酸素流量計セフティフロー（P312／ナット色：金色）もしくはフロージェントルプラス P形（P-35LH／ダイヤル色：水色）をアウトレットバルブに接続します。

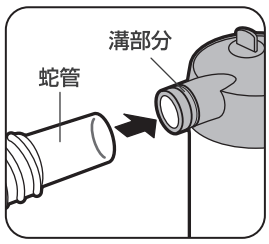
⚠ 注意
恒圧式もしくは2次圧0.35Mpa以上で35L/min供給可能な流量計を使用してください。異なる仕様の流量計を使用すると設定通りの酸素濃度が供給できません。

❸ 酸素流量計の出口ニップルに、本製品の袋ナットを取り付けてください。



❹ ホース接続口に蛇管を接続します。

⚠ 注意
- 蛇管が本体の溝部分の奥まで押し込まれているか、途中で折れていないかを確認してください。
- 人工鼻との併用はしないでください。（エアロゾルにより人工鼻が閉塞し、換気ができなくなるおそれがあります。）

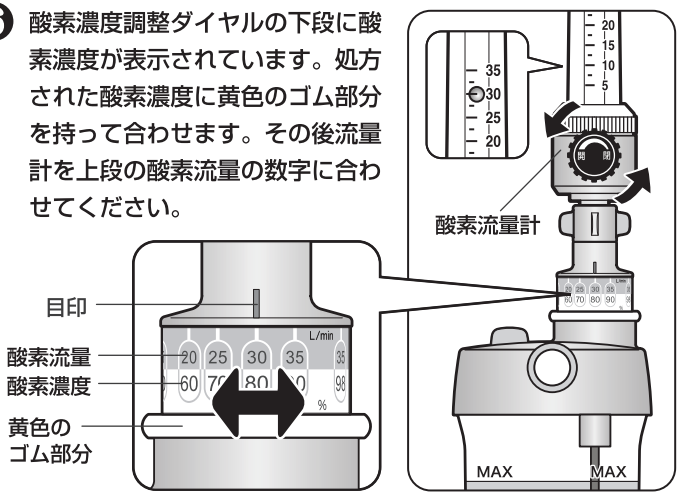


❺ ボトルの上限水位まで滅菌水（もしくは生理食塩水）を入れて、ボトルキャップを確実に取り付けます。



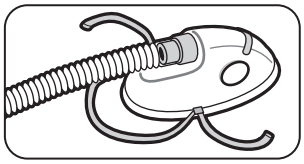
⚠ 注意
- 生理食塩水を使用するときは結晶によってエアロゾルが発生しない時があります。必ず定期的に確認してください。
- 滅菌水、生理食塩水以外の医薬品の投与には使用しないでください。
- ヒーター使用時には、生理食塩水や薬液を入れて使用しないでください。ヒーターが腐食して、故障の危険性があります。

❻ 酸素濃度調整ダイヤルの下段に酸素濃度が表示されています。処方された酸素濃度に黄色のゴム部分を持って合わせます。その後流量計を上段の酸素流量の数字に合わせてください。



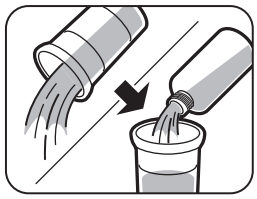
⚠ 注意
- 酸素を使用しているため、火気を近づけないでください。
- 使用時には設定酸素濃度が適正かどうかパルスオキシメータでご確認ください。

❼ マスクは、孔の大きなマスクを使用してください。

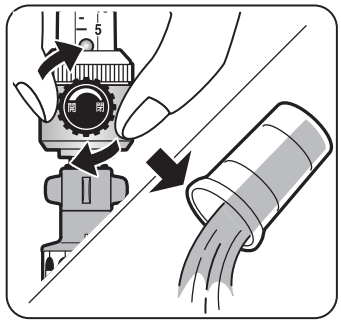


❽ 滅菌水を補給する場合は残った滅菌水を棄ててください。

⚠ 注意
感染の恐れがあるので、滅菌水の継ぎ足しはしないでください。



❾ 感染防止のために24時間を限度に使用し、再使用しないでください。本製品が汚染されるとそれらを含んだエアロゾルを患者に送ってしまうので、使い終わったら、酸素流量計を止めてボトルを空にしてください。



ハイホーヒーター

仕様

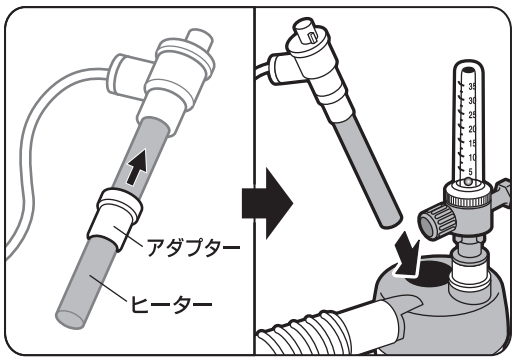
電　源	AC100V
電　力	100W
温度（満水時ネブライザー作動なし）	50度±5℃（設定3）
コードの長さ	2.4m
安全装置	過熱防止用サーモスタット

使用上の注意　⚠ 警告

- 本製品はハイホーネブライザー専用のヒーターです。他の製品と組み合わせて使用しないでください。
- 他社製品のヒーターは、ヒーターの発熱部がボトルに接触して変形することや、温度設定が異なるため使用できません。
- 使用後、ヒーターを取り外す場合はヒーターの金属部分を持たないでください。冷え切らないうちに持つと火傷します。
- ヒーターを落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。
- ヒーターが作動中の間は酸素の供給を中断しないでください。
- 引火性麻酔薬を使用する場所では使用しないでください。
- ヒーター使用時には、生理食塩水や薬液を入れて使用しないでください。ヒーターが腐食して、故障の危険性があります。

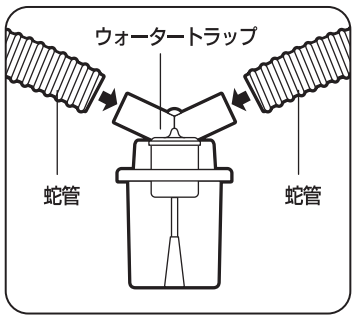
ヒーターを使用するとき

❶ ヒーターにアダプターを取り付けハイホーネブライザーに差し込みます。



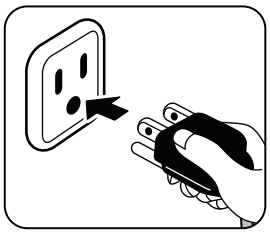
⚠ 注意
- ヒーターにアダプターを取り付けないと、ヒーターの発熱部がボトルに接触して変形する可能性があります。
- ヒーターアダプターが変形している場合はそのまま使用せず、新しいアダプターと交換してください。
- ヒーターの金属部分がチューブや本体に接触していないかご確認ください。

❷ ウォータートラップを接続するときは蛇管を半分の長さに切って、ウォータートラップが一番低くなるように接続してください。



⚠ 注意
- 蛇管の長さが150cm以下となると口元温度が上昇します。
- ウォータートラップに溜まった水は、定期的に捨ててください。

❸ ハイホーネブライザーの使い方1～6を行います。ヒーターの電源プラグをコンセントに差し込み、ヒーターの設定をしてください。ヒーターの設定の目安は下の表になります。口元温度は蛇管の長さや室温に影響されるので、必ず口元温度を確認してから使用してください。



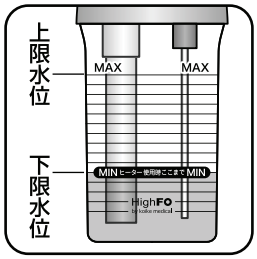
●口元温度

ヒーター設定	1	2	3
口元温度(℃)	22～24	30～32	35～38

（蛇管150cm、酸素濃度40～98%、室温26℃）

⚠ 注意
- 酸素を流さずにヒーターの電源が入った状態が続くと、容器内の温度が上昇して突発的に高温の蒸気が流れることがあります。酸素を流した状態で電源を入れるか、必ず口元温度をご確認ください。
- コンセントにヒーターの電源プラグを入れると、目盛に関係なく通電状態になります。ヒーターに電源を入れるときは、空焚きにならないよう全ての準備が終わってから行ってください。

❹ 上限水位から約2時間程度で下限水位に達します。



●使用時間の目安

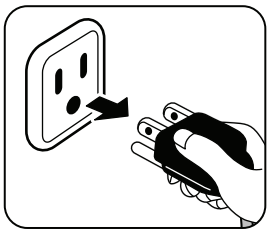
ヒーター設定	1	2	3
使用時間(h)	5.5	2.5	2

ヒーターを使用しない時：約7時間
（蛇管150cm、酸素濃度40%、室温26℃）

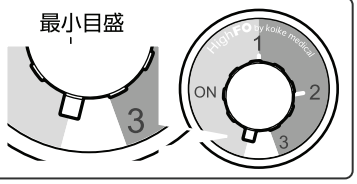
⚠ 注意
空焚き防止のため、使用時間を目安に水位を1時間毎にご確認ください。

ヒーターを使い終わったら

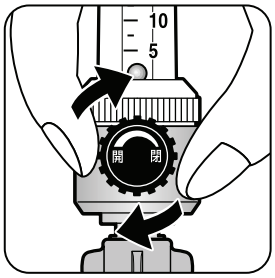
❶ ヒーターの電源プラグをコンセントから抜いてください。最小目盛にしても電源を抜かないと通電しているので火傷の可能性があります。



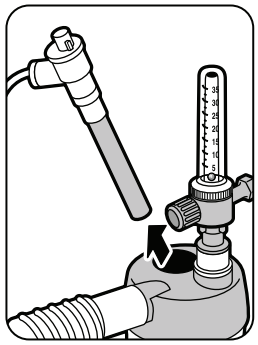
⚠ 注意
最小目盛でも、コンセントから電源を抜かない限り、電源は入ったままです。



❷ 酸素流量計を止めてください。



❸ 十分冷ましてから、ヒーターを抜いてください。



⚠ 注意
十分温度が下がるまで、ヒーターの金属部分に触れないでください。
ヒーターが冷えていない場合、火傷する可能性があります。

❹ 汚れた場合は柔らかな布で拭いてください。

⚠ 注意
- 消毒は薬液で金属部分のみ行なってください。ヒーター全体を液体の中に入れると故障の原因となります。また、薬液で消毒を行う場合は金属腐食性のある薬液のご使用はおやめください。
- オートクレーブ滅菌は行なわないでください。

保守点検について

1.ヒーター特性が大幅に異なる場合は使用を中止し、販売店もしくは最寄りの弊社の営業所にご連絡ください。
2.ダイヤルがスムーズに回転することを確認してください。
3.プラグや電源コードが割れたり、断線していないことを確認してください。
4.本製品を1年以上放置してから使用する場合は、念のため最寄りの営業所に点検を依頼してください。